

SPECIAL 特集 FEATURE

保健師の仕事を外から見ると

保健師にしかない武器を活かして 認知症ケアの現場から 和田行男

保健師の「味噌」 児童虐待防止の現場から 山野良一

最も身近な行政の窓口に住民として・子をもつ親としての立場から 阿真京子

精神疾患をもつ人の地域生活支援の現場から 三浦勇太

希望をもって前向きに生きていくための支援を 自殺対策の現場から 千葉良一

PHOTO & PICK UP「まちづくり」の現場

若い世代の主体的な健康づくりを支援

八王子市の乳がん検診普及啓発を中心とした「女性の健康支援対策事業」 瀧川順子ほか

調査報告 震災の一時避難可能性と累積生存からみた地域保健活動 中山直子ほか

活動報告 在日ブラジル人学校に通う児童・生徒を対象にした健康診断の取り組み 佐藤由美ほか

連載 失敗事例に学ぶ 行動変容に必要なアプローチ(6) 日下慶子ほか／ニュースウォーク(152) 白井正夫／看護系大学・研究所からのメッセージ(71) 武蔵野大学

編集後記

●続いている暑さも景気の悪さも永遠に続くものとは思わないが、不況からはまだ脱しきれそうもない。なにしろ「もの」が売れない。円高が進むと輸入品は安くなるが、日用品には縁がなさそう。ところで、弊誌のような専門職向け雑誌に相応しい「もの」の広告って何だろう。現場を歩く保健師さん向けの、歩きやすいウォーキングシューズとか？ 記録するのが楽な筆記具。軽くて使いやすいカバンなど。どれも保健師さんが個人で選べるものだし、そういう広告はあっても楽しそうなのだが、どんなものか。今回は広告のお話でした。(杉之尾)

●暑い日が続きますね。先日お酒を飲みすぎたせいで二日酔いになってしまいました。暑さで起きると部屋が暑い。水を飲みたいけれども体が動かない。ほうほうの体でクーラーをつけ、冷蔵庫へ這い寄りながら何とか水分を摂ることができました。熱中症の危機はすぐそばに。

●京都へ出張に行きました。出張ではいつも何をおみやげに買って帰るか悩むのですが、悩んだ結果どうするかというと「少量を多種類買う」。そのせいで帰りの飛行機や新幹線では大量の紙袋を提げること。帰りのラッシュに揉まれながら現実に戻るのです。(小路)

保健師ジャーナル 第66巻10号 2010年10月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2010年年間購読料(税込, 送料弊社負担)15,000円, 電子ジャーナル閲覧オプション付20,000円
発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600
保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当: 杉之尾, 小路, 伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。1348-8333/10/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示の提示をお願いいたします。